

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

				平成	27	年度
事業番号	27		事業名	企画一般事業費		
担当課	地方創生室・企画課		担当係	地方創生推進係・企画振興係		
総合計画に最も関連ある施策	施策	1	住民が主役のまちづくり	連絡先	0858-76-0213	
	施策体系	4	コミュニティ活動の推進	事業区分	□新規	
	主な事業	各種計画策定、移住定住、魅力あるまちづくり事業			■継続	
予算区分	款	2	総務費	事業実施主体	■八頭町	
	項	1	総務管理費		□その他	
	目	4	企画費	計画期間	開始	—
	事業	27	企画一般事業費		終了	—

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載 町民		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 八頭町民が八頭町に住み続けたい、住んで良かったと思える町づくりをめざして、各種計画を策定・実施するとともに、地域活性化を図ることを目的とする。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載 各種計画の策定・実施、移住定住相談会開催、魅力あるまちづくり推進事業、結婚事業等		
事業の手段	どういった方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載 各専門委員会等を通して各種計画を策定・実施する。婚活事業や移住相談会の実施については、鳥取県及び東部市町村とも協力して行う。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載 各種計画の策定・実施、八頭町への移住定住者の増加、魅力あるまちづくり事業による地域活力の創出		
根拠法令等	5	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし 法令等名→	

3 活動指標、成果指標

活動指標	A	件	各種計画の策定・変更
	B	回	移住定住の促進(相談会の開催)
	C	団体	魅力まちづくり事業活動の促進
	D	回	婚活事業の促進
成果指標	E	件	各種計画の策定・変更件数
	F	人	八頭町空き家登録物件への移住定住者数
	G	団体	魅力まちづくり事業活動数
	H	人	婚活事業参加者数

4 コスト

区分	単位	24年度	25年度	26年度		27年度		28年度
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	3	2	2	3	5	5	5
	B	3	2	2	3	2	6	5
	C		5	5	3	5	6	5
	D	3	2	2	2	4	4	4
成果目標	E	3	3	3	3	5	5	5
	F	7	3	7	12	15	4	20
	G	0	5	5	3	5	6	5
	H		13	20	13	30	31	30
トータルコスト	千円	14,072	15,243	19,186	20,084	20,406	19,737	6,956
担当職員数	人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.5
職員人件費	千円	12,300	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	4,000
事業費	千円	1,772	3,243	7,186	8,084	8,406	7,737	2,956
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円						
	県支出金(交付金・補助金)	千円	370	228	975	443	1,871	2,769
	地方債(借入金)	千円						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円			420	441		
	一般財源(単町費)	千円	1,402	3,015	5,791	7,200	6,535	4,968

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 27 年度

実施活動内容・ 成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	
	過疎及び辺地地域の振興を図るため過疎計画及び辺地計画を策定した。また、婚活事業や移住定住相談会を実施し、移住定住の促進等を図った。	
	成果(具体的に)	
	過疎計画及び辺地計画を策定し、中山間地域の活性化策を示した。また、婚活事業や移住定住相談会を実施することにより、社会減の削減に努めた。	

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	地方創生を図っていくうえで、必要不可欠である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	町づくりの根幹となる計画等であり、町が実施すべきである。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	婚活事業、移住定住対策については、近隣市町と連携しながら実施することで、効率性が図られる。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	地方創生に直結する事業であり緊急性がある。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	転入・転出の人口の差である社会減については、一定の歯止めをかけることができた。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
1	1、拡充する	80点以上	86	地方創生や人口減少対策への取組は、喫緊の課題であり、今後も一層拡充する必要がある。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	1	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
1	1、拡充する	本事業においては、総合計画・過疎計画・辺地計画などといった本町の施策実施において中心となる計画の策定をはじめ、魅力ある地域づくり推進補助金事業や移住定住促進事業、放置家屋等対策事業、また、結婚支援事業など地域振興や地域活性化に資する事業を展開しており、当該事業の重要性が認められるところである。特に、地方創生関連の「八頭町総合戦略」策定以後は、人口減少の抑制に資する事業の重要性がより一層認識されるところであり、平成27年度は、婚活イベントや移住定住相談会において実施回数を増やすなどの充実化が図られている。今後も、出会いの場の創出や婚活支援などの結婚支援事業、また、空き家データの蓄積・管理や受入れ環境の整備などの移住定住促進事業などの取組を強化するとともに、事業実施に当たっては、効果・成果を念頭に置き、最良の手法を選択するよう努力されたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所
	地方創生の総合戦略や八頭町総合計画、各種計画に基き、積極的に地域活性化を図っていく必要がある。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか
	地方創生や人口減少対策への取組は、喫緊の課題であり、今後も近隣市町や住民団体とも連携する中で、地域振興を図っていく必要がある。